

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

1

男子 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
県立高松商業	<u>26</u>	8	—	12	県立不来方
		18	—	10	
		—			
		—			
		—			
		7mTC			

昨日、一回戦で玉野光南を破った不来方と、初戦の高松商業の対戦。高松商業のスローオフで試合開始。ポストを中心にセットで攻める不来方に対し速攻を仕掛ける高松商業。10分経過で5対3高松商業がリード。高松商業が速攻で連続得点をするも不来方も5番中村のミドルシュートなどで4連続得点、18分で7対8と逆転する。アタックディフェンスを仕掛ける高松商業、かわす不来方ではあるがシュートに結びつかない。23分、不来方の10番新沼がサイドシュートを決めたことで高松商業キーパーのリズムが乱れ不来方が連続得点。高松商業は7mの1点のみ。8対12で前半終了。

後半は主将内堀の活躍で高松商業の連続得点で始まる。5番中條の活躍があり高松商業が差を詰めようやく11分、同点16対16に追いつく。そのあと競り合うも、15分不来方に退場者が出たことをきっかけに高松商業が3点差をつける。その後、不来方は粘り強く攻めるが、高松商業の守りは堅く、逆に速攻のチャンスをあたえることになり差を広げられる。苦しい試合ではあったが、高松商業が持ち味である堅い守りからの速攻を活かし26対22で勝利した。

2016年 3 月 25 日

記載者氏名 石井 慎也

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

2

男子 女子 2 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
県立日川	<u>11</u>	7	—	14	四天王寺
		4	—	13	
		—			
		—			
		—			
		7mTC			
			<u>27</u>		

両校とも今大会初戦となるこの試合、四天王寺のスローオフで試合開始。ほぼ五角の立ち上がりを見せるも、四天王寺は17番橋本の得点をきっかけに得点を重ね、4対2とリードする。その後も四天王寺は29番平田を軸に連続で得点を重ね8対3とリードを広げた。たまたらず日川はタイムアウトを要求。その後日川は7番今川のロングシュートなどで追い上げをみせるが、四天王寺の勢いは止まらず、15番西村の連続得点、19番辻のポストプレーなどでじりじりと点差を広げる。そのまま試合は進み、14対7で前半を終了した。

後半開始直後から四天王寺のディフェンスは高さを出し、パスカットからの速攻を積極的に狙う。日川はそれに対応しきれず、後半開始5分で3点を奪われタイムアウトを要求する苦しい展開となった。その後も四天王寺の猛攻は続き、点差を12点とする。後半12分、四天王寺に退場者がでる。日川は懸命に追い上げをはかるが、12番森の好セーブに阻まれ点差を縮められない。そのまま四天王寺が優勢を保ったまま27対11で日川を下し、四天王寺が三回戦にコマを進めた。

2016年 3月 25日

記載者氏名 日高 優一

戦 評 用 紙

男1

男子・女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
藤代紫水	27	13	13	興南
		—	—	
		14	10	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

この試合が初戦となる今年度インターハイ優勝校の紫水に対し、1回戦で聖和学園に快勝した昨年度インターハイ優勝校興南の対戦。興南のスローオフで試合開始。立ち上がり、昨日からの勢いそのままに興南が先制。紫水のミスに乘じ、7番平仲の速攻などで序盤は興南ペースで試合が動く。中盤以降、紫水も速攻で応戦。さらに14番左腕の河原の強烈なミドルが連続で決まる。前半は13-13で熱戦の行方は後半に託された。

後半に入ると、興南は3-3DFを敷き清水の攻撃を遮断しようと試みる。先制は興南。興南3番垣花の連続シュートなど、このまま興南ペースが続くかと思われた。しかし、紫水の速攻が機能し始め、得点を重ねる。興南も個人技で応戦するも、得点差は広がっていく。興南21分47秒、25分50秒のタイムアウトで息を吹き返し、怒涛の追い上げを見せるも、中盤についた得点差は縮められなかった。

平成 28 年 3 月 25 日

記載者氏名 沖野 勝洋

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

7

男子 2 回戦

会場 神戸国際大学附属高等学校体育館

コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
紀北農芸	<u>26</u>	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>1</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td colspan="3">7mTC</td></tr> </table>	11	—	10	12	—	13	2	—	3	1	—	3	—	—	—	7mTC			<u>29</u>	不来方
11	—	10																				
12	—	13																				
2	—	3																				
1	—	3																				
—	—	—																				
7mTC																						

不来方のスローオフで始まったこの試合。先制は紀北農芸。不来方もパスカットから速攻で同点。

その後、紀北農芸はキーパー辻岡の好守からの速攻などで加点していく。14分、不来方は佐々木の

パスカットからの速攻で同点に追いつく。その後は取れば取られるという一進一退の状態が続く。

20分、不来方は退場で不利になるも、キーパー赤川がシュートを2本止めてこの間1失点で凌ぐ。

前半は紀北農芸が1点リードで終了。

後半の先取点も紀北農芸。2点差としたがここから不来方は粘って同点に追いつき、それからはシ

ーソーゲームが展開される。24分、不来方の平がシュートを決めて2点リードするが、紀北農芸も

粘りに粘り、終了直前に驚異の同点シュートを決め、23対23で延長戦へ。

第1延長は不来方が3得点、紀北農芸は2得点。第2延長は不来方が3得点、紀北農芸が1得点で、

熱戦を制したのは不来方だった。

2016年3月25日

記載者氏名 青木 宏

戦 評 用 紙

12

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 高砂市総合体育館

コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
花巻北	33	11	10	富岡
		22	9	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		
			19	

今ひとつ調子でない富岡の立ち上がりをついた花巻北が、4本の7mTをすべて決めた主将鳴

海の活躍等で、まずはリードを奪う展開となった。追う展開となった富岡は、花巻北の小原を

中心とする堅い守りをなかなか崩すことができなかったが、連続ゴールや新井のミドルシュート

で勢いをつかみ、一時は同点に追いついた。その後は一進一退の攻防が続いたが、前半は花巻北

の1点リードで折り返した。

後半は、富岡の連続退場の間に花巻北が6連続得点で大きくリードを奪う。富岡も大塚の3連続

ゴール等で必死の抵抗を見せるが、花巻北小原の度重なる好セーブもあり、なかなか点差を縮め

ることができない。逆に、花巻北は鳴海のステップシュートや石亀のポストプレーが次々に決ま

り、22分には10点リードを奪った。結局、終始安定したディフェンスから、決定力の高い攻

撃を続けた花巻北が、33対19で勝利した。

2016年 3月 25日

記載者氏名 高橋 厚之

戦 評 用 紙

12

男子 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 加古川市立総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
鹿児島南	27	14	13	氷見
		13	11	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

2回戦、初戦八千代高校を下した鹿児島南高校と氷見高校との対戦。ほぼ互角の立ち上がりの試合となったが、開始3分後に氷見に退場者が出たが、そこから鹿児島南は得点を奪えなかった。しかし、鹿児島南は速攻やカットインなどで8-4とリードする。試合が動いたのは前半14分。鹿児島南は立て続けに2人の退場者を出し、その間氷見は点差を詰め、前半18分に氷見は同点に追いつく。追いつかれた鹿児島南は4点を連取し、13-9とした。氷見はポストシュートや速攻で粘り、14-13で前半を鹿児島南が1点リードする形で終えた。

後半も開始直後から鹿児島南は2番吉留のカットインシュートが冴え、得点を重ねた。ここで粘り強く攻める氷見は一気に追い上げ、後半15分に20-20の同点に追いつく。鹿児島南3番伊地知がロングシュートを決め、氷見はこの3番伊地知にマンツーマンディフェンスをつけるが逆に26-20と点差を広げられる。氷見は10番山本がサイドシュートで粘りを見せるが、27-24で鹿児島南が3回戦へ駒を進めた。

2016年 3月 25日

記載者氏名 櫻井 寛子